

審査結果概要書

平成 23 年 12 月 22 日

審査機関名 シー・アイ・ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	宿泊施設におけるボイラーの更新及び燃料転換（A重油 都市ガス）
排出削減事業者名	株式会社 琴平グランドホテル
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人低炭素投資促進機構
その他関連事業者名	
事業実施場所	こんぴら温泉 華の湯 紅梅亭 （香川県仲多度郡琴平町 556-1）
事業の概要	本事業は、高効率の都市ガス仕様温水ボイラーに更新することにより、エネルギー使用効率の向上を図り、燃料使用量を削減することでCO ₂ 排出量を削減するものである。また、ボイラーの燃料を従来のA重油から単位発熱量当たりのCO ₂ 排出量がより少ない都市ガスに変更することにより、CO ₂ 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2011年度：84 tCO ₂ /年 2012年度：331 tCO ₂ /年 （事業実施期間合計 415 tCO ₂ ）
国内クレジット 認証期間	事業開始日 2012年1月20日 終了予定日 2013年3月31日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

3 . 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続き
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、2011年12月12日に事業サイトを訪問して確認した。</p> <p>排出削減事業実施場所：こんぴら温泉 華の湯 紅梅亭 (香川県仲多度郡琴平町 556-1)</p>
追加性を有すること	<p>1) 法的義務がないこと 本事業は、法的義務等の順守のために計画されたものではなく、CO2 排出量の削減を目的として実施されたことを、削減事業実施者への質問等により確認した。</p> <p>2) 整備が継続利用可能であること 本事業を実施せず、設備更新を行わない場合、既存設備(A 重油仕様温水ボイラー)を継続して利用することが可能であったことを質問、関連資料の閲覧、及び事業サイト訪問時での既存設備の導入実施時期の確認により確認している。</p> <p>3) 投資回収年数 排出削減事業の投資回収年数については、入手した根拠資料、質問および検算により全体で18.6年であることを確認している。投資回収年数計算の根拠データについては、関連証憑と突合することにより正確性を確認している。また、投資回収年数については設備投資額から補助金を差し引いた純投資額をもとに算出していることを確認している。</p> <p>4) 追加性判断における定性要因 A 重油による煤煙問題で、近隣への環境配慮の一環として今回の事業実施を検討するなか、国内クレジット制度の存在を知り、さらなる環境アピール効果を期待して本事業の実施が決定されたことを質問により確認している。以上の通り、本事業は国内クレジット制度への参加を意図して実施されたものであり、追加性があると判断できる。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>自主行動計画への参加の有無について、訪問時の事業者への質問、その他関係者への質問により自主行動計画に参加している事業者でない事を確認した。</p>

排出削減方法論に基づいて実施されること

- 1) 本排出削減事業は、承認排出削減方法論 001 に基づき排出削減量を計算しており、該当する適用条件を満たしていることを確認した。
適用条件 1 については、既存ボイラーよりも高効率のボイラーに更新することを関係者への質問により確認している。現地確認時はボイラー未設置の為、ヒアリングにてボイラー稼動予定日が H23 年 1 月 20 日であることを確認している。
適用条件 2 については、本事業により都市ガス仕様温水ボイラーへの更新を行わなかった場合、既存の A 重油仕様温水ボイラーについて特段の改修予定もなく継続的に利用できることを関連資料及び関係者への質問により確認している。
適用条件 3 については、都市ガス仕様温水ボイラーにより生産した蒸気はすべて事業所内で使用しており、他社への供給はないことを確認している。
- 2) その他、バウンダリーの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリングの方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。
- 3) ベースライン排出量の算定に係る既存設備の最大利用期間についていずれの設備も法定耐用年数の 2 倍を超えていないことを確認している。

4 . 特記事項

なし